



# 取扱説明書

## ローラーキャビネット No.EKX-108

このたびは、**KTC** ローラーキャビネット（No.EKX-108）をお買上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品をより安全・適切にお使いいただく為、この取扱説明書をお読み下さい。  
取扱説明及び表示の注意事項や使用方法を十分にご理解いただいた上で正しくお使い下さい。  
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管して下さい。

|      |  |      |                 |
|------|--|------|-----------------|
| ⚠ 警告 | 誤った取扱いをした場合、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を表します。            |      |                 |
| ⚠ 注意 | 誤った取扱いをした場合、傷害を負う可能性が想定される内容及び、物的損害の発生が想定される内容を表します。 | ⛔    | 禁止行為を表します。      |
| ❗    | 必ずしてほしい行為を表します。                                      | 📌 注意 | 確認してほしい行為を表します。 |

### 使用上の注意

#### 使用前に必ずお読み下さい。

#### 警告

- ❗ 耐荷重（積載重量）は超過しないようにお使いください。
  - 移動するときは「引出し」を収納し、カギを掛けてからキャスターのストッパー（レバー-OFF）を外し、周囲の安全を確かめてから移動してください。
  - 回転不良、磨耗、劣化したキャスターは使用しないでください。
  - 平らな場所で使用してください。傾斜のある場所や凸凹した場所での使用や保管は絶対に行わないでください。製品が倒れるなどしてケガをする恐れがあります。
- ⚠ ワークキャビネットの上に乗ったり、寄りかかったりしないでください。転落などをしてケガをする恐れがあります。
  - 耐荷重を超える工具類の収納または重量物を載せないでください。
  - 工具類の収納または物を載せる時は片方に寄らないようにしてください。特に手前に集中した収納は危険ですのでお止めください。
  - 廃棄するときは焼却しないでください。有毒ガスが発生するなど周囲に悪影響を及ぼす危険があります。

#### 使用前に必ずお読み下さい。

#### 注意

- ❗ 製品の取扱説明及び注意事項をお読みになり、十分理解した上でお使い下さい。
  - 本製品に化学薬品、海水、水分等を付着させないように使用して下さい。
  - ボルトやネジの緩みによるガタつきが生じた時は、早めに締め直してください。
  - 可動部のすき間に手を入れないでください。ケガをする恐れがあります。
  - 引き出した「引出し」に手や足などで力を加えないでください。倒れるなどしてケガをする恐れがあります。
  - 使用するときはキャスターを必ずロックしてご使用ください。
  - 作業終了時や移動時は全ての「引出し」がロック位置にあることを確認してください。
  - 製品のメンテナンスに際しては、取扱説明書に書かれていること以外の事を行うとキャビネットを破損させる原因となります。
  - 本製品を第三者に貸したり、譲渡される場合はこの取扱説明書を必ず添付し、取扱い方法を十分に説明してください。
- ⚠ 本製品は室内または屋内用です。屋外や水のかかる場所では使用しないでください。
  - 直射日光や暖房器具の熱が直接当たる場所や、湿気及び乾燥が著しいところでは使用しないでください。
  - 貴重品は入れないでください。カギを破壊されて盗まれる恐れがあります。
  - 天板に熱い物を直接置かないでください。熱により変色する恐れがあります。
  - 製品に亀裂、変形などの異常が認められる場合は使用しないで下さい。
  - 分解、改造はしないで下さい。
  - 製品に貼ってある表示シールは絶対にはがさないでください。
  - 正面側のキャスター部に乗らないでください。転倒しケガをする恐れがあります。
  - キャスターには側面からの外力を与えないようにしてください。
  - 上段の「引出し」を出したままで、下段「引出し」からの工具類の取出しや収納は行わないでください。立ち上がった時に上段の「引出し」に頭などをぶつけてケガをする恐れがあります。

### 移動時の注意

#### 使用前に必ずお読み下さい。 本製品は前後方向に移動します。

#### 注意

- ❗ 移動時は全ての「引出し」がロック位置にあることを確認してください。
  - ワークキャビネットを押して移動させる場合には、必ず背面の死角になるところに人や障害物がいないか確かめて移動させてください。人や障害物に当たり転倒などしてケガをする恐れがあります。
  - 収納量が多く、1人で移動させにくい場合は2人以上で安全を確保した上で行ってください。
- ⚠ 移動時に正面側のキャスター部に乗らないでください。転倒などしてケガをする恐れがあります。
  - 走行中にストッパーを操作しないでください。
  - ストッパーを掛けたままだ移動させないでください。またストッパーを掛けたままで無理に動かさないでください。
  - 傾斜のある場所や凸凹した場所、段差のある場所では、ワークキャビネットに収納している、していないに関わらず移動させないでください。転倒などしてケガをする恐れがあります。

### 入組内容

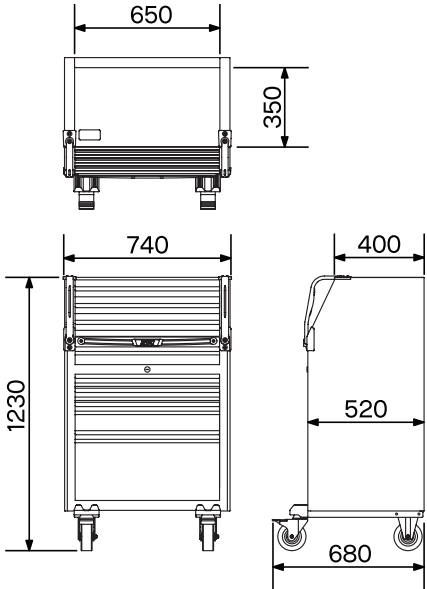
| 品番      | 数 | 付属部品        | 数 | 付属部品        | 数 |
|---------|---|-------------|---|-------------|---|
| EKX-108 | 1 | 仕切板（ビス24本付） | 6 | マットセット（8枚入） | 1 |
|         |   | カギ          | 2 |             |   |

### 寸法

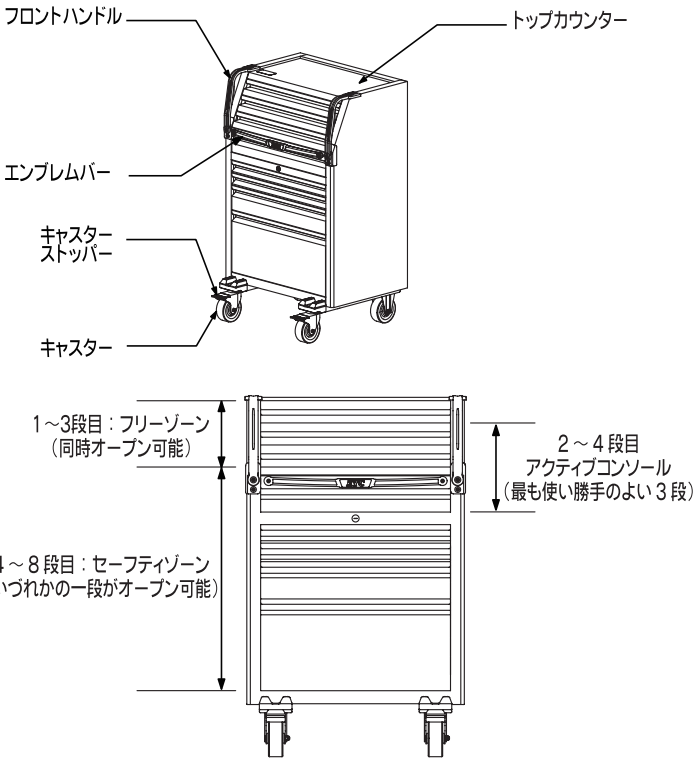
本体重量：110Kg

### 引出し耐荷重

|          | 耐荷重（Kg） |
|----------|---------|
| トップカウンター | 40      |
| 1段目      | 15      |
| 2段目      |         |
| 3段目      |         |
| 4段目      | 20      |
| 5段目      | 15      |
| 6段目      |         |
| 7段目      | 20      |
| 8段目      | 30      |



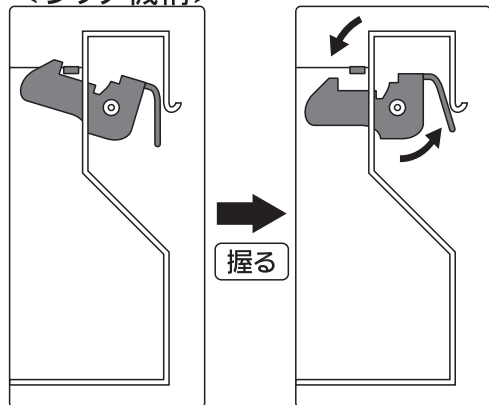
### 名称



## ラッチ機構・オールロック機構・セーフティーロック機構の使い方

本製品は「引出し」を最大4段まで同時に引き出すことができる安全設計です。

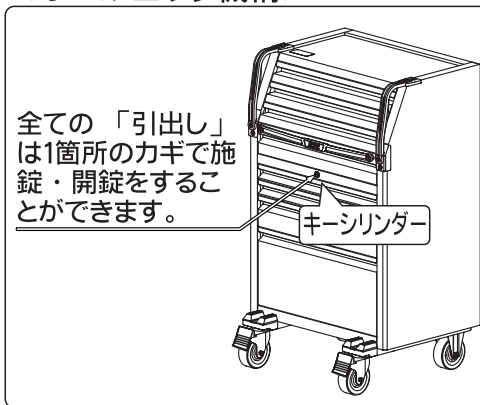
### <ラッチ機構>



不意な「引出し」の飛び出しを防止する機構です。取っ手の裏側にあるバーを握ると解除し、放すと「引出し」がロックされます。

❗  
「引出し」を途中でロックすることはできません。

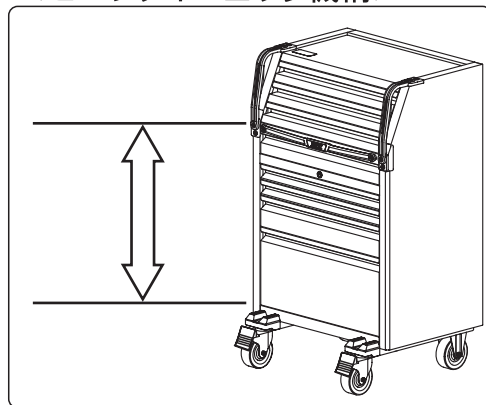
### <オールロック機構>



全ての「引出し」は1箇所のカギで施錠・開錠をすることができます。

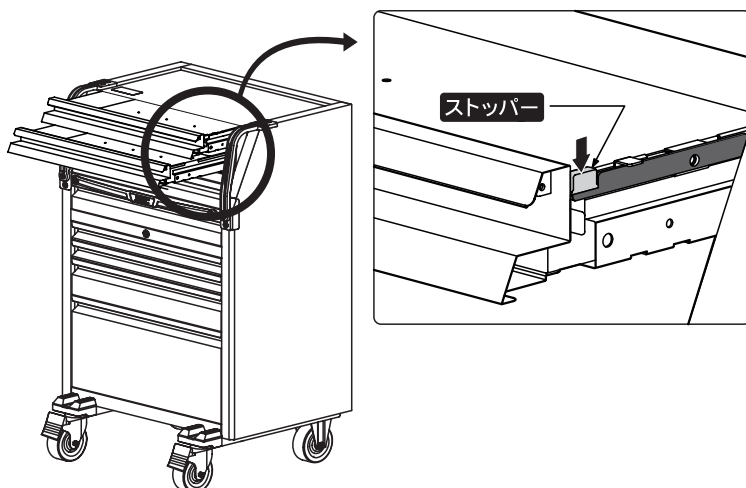
❗  
移動するには必ず施錠をしてください。

### <セーフティーロック機構>



本製品の4段目～8段目に装備されている機構です。この間の「引出し」はいずれかの1段しか引き出すことができません。2段の「引出し」を同時に引き出すことはできません。

## 中間ストッパーの使い方（引出し1段目～2段目）

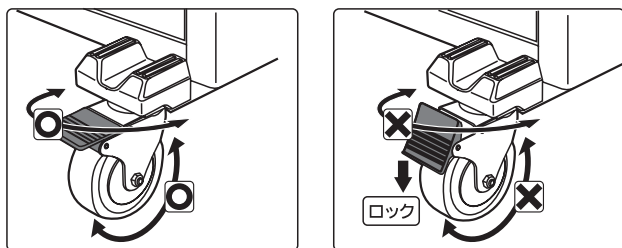


1段目～2段目に配置された「引出し」はひな壇状に引き出すことができます。

本製品の1段目・2段目に装備されている機構です。「引出し」は2段階のアクションで引き出すことができます。「引出し」右側にあるストッパーを押し下げると解除され、最後まで引き出すことができます。

❗  
ストッパーを押し下げる時には、必ず片方の手で「引出し」を保持しながら行ってください。

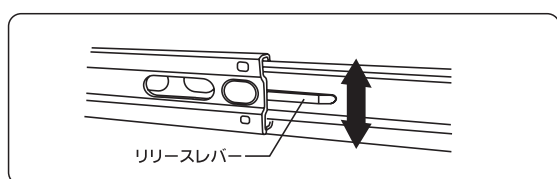
## キャスターストッパーの使い方



自在キャスターは回転方向、首振り方向の両方向を同時にロックをすることができます。

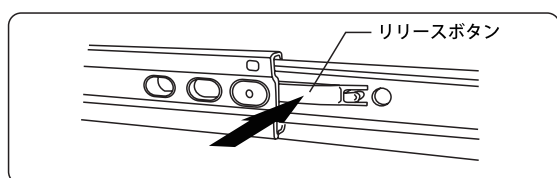
❗  
移動をさせない時は必ずロックしてください。

## 「引出し」の脱着方法



1段目～3段目

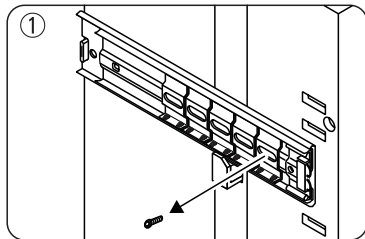
・取り外し  
「引出し」の左側はリリースレバーを下に、右側はリリースレバーを上を動かして、そのまま引き抜いてください。  
・取り付け  
「引出し」のレールを本体側のレールに合わせ押し込んでください。



4段目～8段目

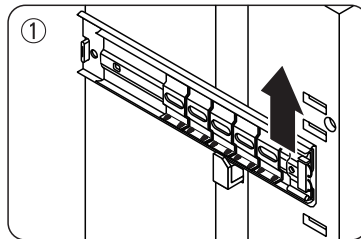
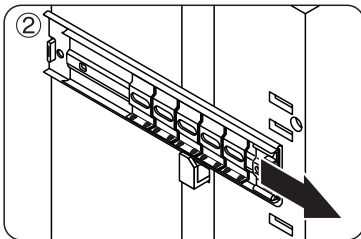
・取り外し  
「引出し」のレールにあるリリースボタンを押し込み、そのまま引き抜いてください。  
・取り付け  
「引出し」のレールを本体側のレールに合わせ押し込んでください。

## 「引出しレール」の脱着方法



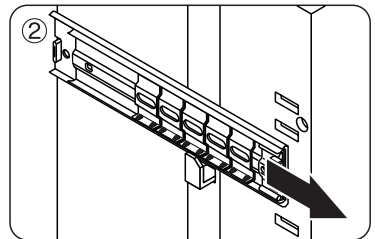
1段目～3段目

- ①「引出し」を取り外した後、レール前面側にあるビスを取り外します。
- ②レールを手前に引くとレールが外れます。



4段目～8段目

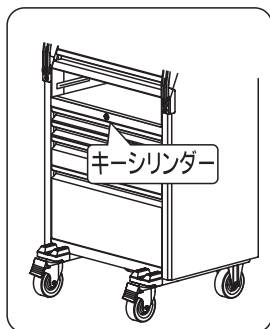
- ①「引出し」を取り外した後、レール前面側を上方向に動かし外します。
- ②レールを手前に引くとレールが外れます。



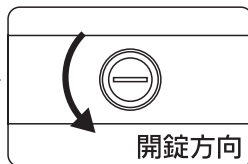
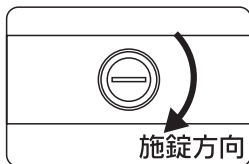
## セーフティーゾーンの引出し操作について

本製品の4段目～8段目に装備されているセーフティーロック機構は、この間の「引出し」いずれか1段しか引き出すことができません。2段の「引出し」を同時に引き出すことはできません。何らかの事情により、このセーフティーゾーンの「引出し」を2段以上引き出さなければならない時は以下の方法で行ってください。

### <1段以上「引出し」を引き出す>



- 1段目が引き出された状態で、以下のようにキーシリンダーの操作を行うことでセーフティーロック機構が解除され、「引出し」を引き出すことができます。



1段目が引き出された状態で、カギを「施錠」方向に回した後、「開錠」方向に回すと、セーフティーロック機構が解除され、さらにもう1段引き出すことができます。

- さらに「引出し」を引き出す必要がある場合は、上記の操作を各段で行ってください。

### <「引出し」の取り付け>

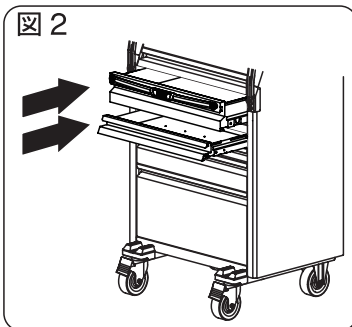
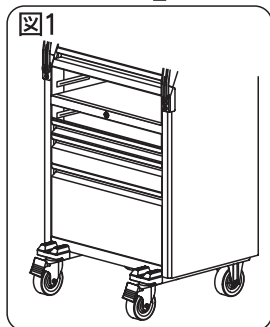
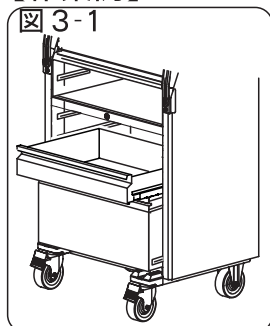


図1のようにセーフティーゾーンの複数段の引き出しが取り外された時、1段ずつ取り付けるとセーフティーロック機構が働き、2段目以降の「引出し」はロックできない状態になります。「引出し」を2段取り外した場合は、図2のように2段同時に押し込みロックさせてください。

### 【作業例】



最後まで押し込まないように、「7・8」段目を取り付ける。

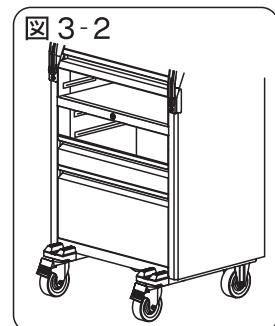
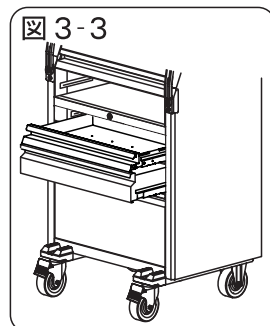
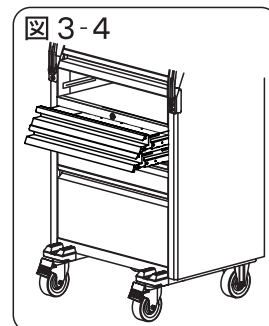


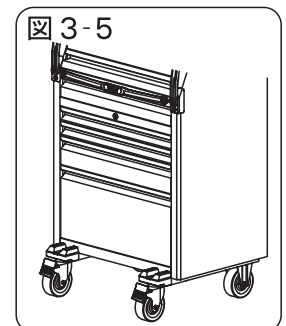
図2の方法で「7・8」段目を同時に押し込みロックする。



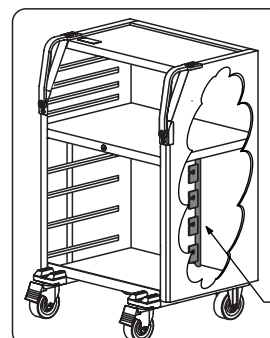
6段目を入れる前にキー操作で7段目を引き出し、図2の方法で「6・7」段目を同時に押し込みロックする。



5段目を入れる前にキー操作で6段目を引き出し、図2の方法で「5・6」段目を同時に押し込みロックする。



4段目を入れる前にキー操作で5段目を引き出し、図2の方法で「4・5」段目を同時に押し込みロックする。

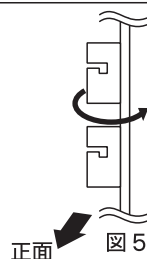


#### 《作業の前に》

ローラーキャビネットを正面から見て、セーフティロック機構が図5のような状態になっていると「引出し」を最後まで入れることはできません。その場合は手で図4のように起こします。



正面

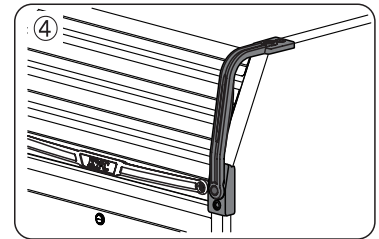
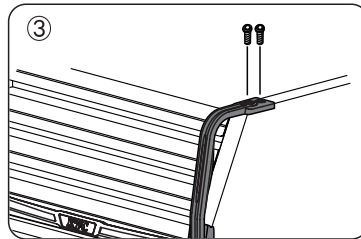
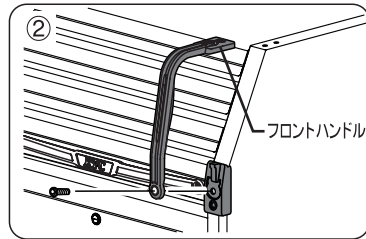
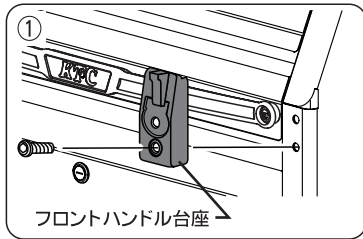


正面

セーフティロック機構

## 組立方法 (一部の部品ははじめから装着されています。)

### <フロントハンドルの取り付け> (使用工具:ヘキサゴンレンチ5mm)



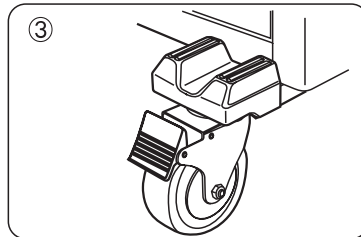
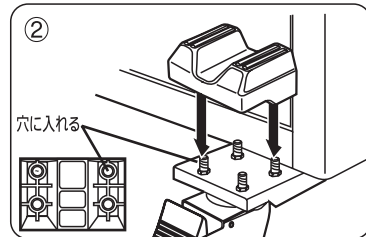
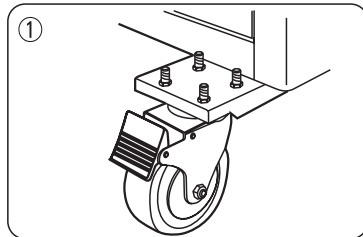
フロントハンドル台座を本体に取り付ける。

フロントハンドル台座にフロントハンドルを取り付ける。

トップカウンター側からフロントハンドルを本体に固定する。

完成

### <キャスターカバーの取り付け>



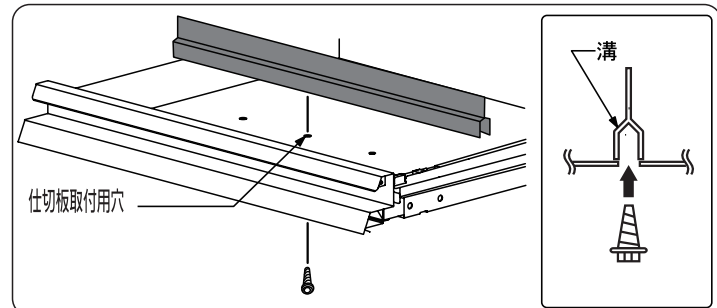
作業を行う時は、平らな場所で、必ずキャスターをロックした状態で行ってください。

キャスターをロックする。

キャスター取り付けボルトとキャスターカバー裏面の穴を合わせて被せる。

装着したキャスターカバーが外れないことを確認してください。

### <仕切板の取り付け>



「引出し」にある仕切板取付用穴と仕切板にある溝をあわせ、「引出し」下側からビスで止める。

## メンテナンス

- ・引出しのレールには2回/年グリスの塗布をしてください。
- ・定期的にローラーキャビネットの表面を希釈した中性洗剤できれいにしてください。(土・日・弊社休業日除く)
- ・グリス、オイル汚れは洗浄液をご使用ください。安全のため不燃性の洗浄液をご使用ください。
- ・「引出し」には「引出し用マット」の使用をお勧めいたします。内部を守り「引出し」内部の清掃がしやすくなります。

製造国：日本国 販売者の名称・所在地：京都機械工具株式会社 〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山新開地128番地

本製品の問い合わせは、お客様窓口又は最寄りの下記営業所までお寄せ下さい。

お客様窓口(ものづくり/お客様センター)  
受付時間：9:00~12:00/13:00~17:00  
(土・日・弊社休業日除く)  
TEL:0774-46-4159  
FAX:0774-46-4359  
Email:support@kyototool.co.jp  
URL: http://www.kyototool.co.jp/

支店 TEL/東京 03(3752)2261/名古屋 052(882)6671/近畿 0774(46)3711

営業所 TEL/札幌 011(824)0765/仙台 022(231)6322/金沢 076(291)4546/広島 082(273)0202  
/四国 087(869)4474/福岡 092(441)5637

※仕様及び外観は改良の為予告なく変更することがあります。

No. T57018-0.06.11.500.KTC